

## 水防工法解説

- 1 積み土のう工法  
堤防上面に土のうを積み上げ、水の溢れを防止します。構造が簡単で広く一般的に用いられる工法です。
- 2 改良積み土のう工法  
積み土のうを改良した工法でシートを使い止水性を向上させます。杭を打ち込めない場所などに有効です。
- 3 鋼板防護工法  
薄い鉄板を鉄パイプで組んだものを堤防などに打ち込み鋼板の間に土砂を入れて壁を作り越水を防ぎます。
- 4 連結式水のう工法  
チューブの中に水を入れ、土手を作り越水を防ぎます。越水箇所の長さに応じて繋いで使うこともできます。
- 5 大型土のう工法  
土木工事などで使用される大型土のうを被災箇所に投入し、川側斜面を直接保護します。流速が速い河川にも適用でき、深掘れ防止効果が高い工法です。

## 参加機関(順不同)

- ・江東区役所
- ・東京消防庁第七消防方面本部
- ・第七消防方面内各消防署（9消防署）
- ・即応対処部隊、航空救助機動部隊
- ・第二消防方面本部消防救助機動部隊
- ・城東・深川消防団
- ・江東区建設業協会
- ・国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所
- ・東京都第五建設事務所
- ・東京都下水道局東部第一下水道事務所

## 訓練プログラム

- 10:00 災害発生（訓練開始）  
住民による都市型水防工法・監視警戒  
各水防小隊による水防工法  
埋没家屋からの救助  
大型土のう工法  
漂流者の救助
- 10:55 実動訓練終了  
工法点検・視察開始
- 11:26 講評等
- 11:40 訓練全行程終了
- 12:00 車両展示・体験エリア終了

## 訓練想定

台風の接近に伴う豪雨により、内水氾濫からの浸水被害が発生し、住民による都市型簡易水防工法を実施していたが、時間の経過とともに荒川の水位が氾濫危険水位に達したため江東区が避難指示を発令し、消防団による避難誘導が開始される。

その後の荒川上流での堤防決壊により、大量の水が旧中川を伝い大規模な越水が発生し、埋没家屋や水面上に取り残された要救助者を消防ヘリ及びドローンにより情報収集するとともに特別救助隊及び水難救助隊が連携して救助活動を実施する。

**江東区洪水・高潮ハザードマップ  
及び江東区洪水高潮フックレ  
ットの二次元コードはこちら！**



# 令和7年度

## 江東区・第七消防方面 合同水防訓練



**日時：令和7年6月7日（土）**

**10時00分～12時00分**

**場所：江東区東砂八丁目22番先**

**荒川・砂町水辺公園**

※荒天の際は中止になる場合があります

# 水防訓練会場レイアウト

